



MODEL 1915

ホーンドライバーの性能限界を破る*タンジェリン*採用のニューシステム!!



アメリカ西海岸、ルート5添いにサンディエゴ周辺まで広がる一面のオレンジ畑、この辺一帯は「オレンジカウンティ」と云う地名もある位のオレンジの多収穫地帯です。

たわわに実をつけた木からは、大地の上にもオレンジ色の絨氈を敷きつめたように、沢山の実が落ちていましたが……!?

本格的ホーンスピーカーシステムの性能は、ドライバーユニットの特性如何にかかっている、と云っても過言ではありません。

ALTECではドライバーの性能向上にその熱情を注ぎ、長期プロジェクトに依る追求の末、従来の定説とされていた「振動板の材質選定と、質量の軽減」「空隙磁束密度を飽和点まで上げる」「エッジの材質をリニアリティのよいものとする」などの、主にニューメソッドの導入でその性能向上を計ってきました。しかし、従来のウエスタンエレクトリックからの方法を継承するそれらの方法では、既に性能限界がきている事にALTECでは数年前から気づいていました。

その結果「ドライバーとは何か?」との原点に立ち帰り、改めて基本構造から洗い直し、徹底究明した結果がこのほど出されたのです。

オレンジの実と、スカイブルーと、タンジェリンと…。

この革新的なコンセプトから生まれでたノウハウそれは何と「タンジェリン」と名付けられた、クレージーな人工果物でした。とどのつまり、先程のオレンジの一粒の実からヒントが得られたものですが、ちょうど真二つに割ったオレンジの一片とそのかたちは、酷似しています。

そしてそれは、ALTECのドライバーの性能限界を飛躍的に向上させる強力なマスターピースとなり得たのです。
(主産物)

ALTECでは、この画期的なニュードライバーを装着した新機種を二機種登場させました。それがここでご紹介するモデル15、19で従来のシステムに採用されていたテクノロジーをはるかに凌駕し、先例のないパフォーマンスを具現しています。

一粒のオレンジから、
何かが始まった…!

フロアー型2ウェイ2スピーカーシステム

MODEL 19

フロアー型2ウェイ2スピーカーシステム

MODEL 15



MODEL 19 注目の「タンジェリン」ドライバー採用のニューシステムの中で、大型に属する機種がこのモデル19です。

洒落た2ブロックのブラック・グリルが全体のプロポーションをキリリと引き締め、その高性能ぶりを感じさせるフレッシュなデザインです。並み外れたドライバーの性能を生かし切るために、内装コンポーネントは、ベストアッセンブリーが成され、ウーファーは416-8Bを採用、完全にベンテッド・チューニングが施されています。中高音ホーンは定評ある811B、更にこのニューシステムのために専用設計された、クロスオーバーを低くとった2ウ

エイシステムでありながら、中域と高域のレベルを別々にコントロールできる新機軸のネットワークが採用されています。

音質面では「タンジェリン」の優れた特質を鮮やかに印象づける、おそろしいほどの切れ味のよさ、歪感の少なさを発揮し、しかもALTEC伝統の豊かな臨場感も忘れていない優れたものです。モデル19はあらゆる音楽の精妙なニュアンスを刻明に捉え、それを白日のもとに表出させる能力を備えています。



